

股関節疾患チェックのために 受診中あるいは受診経験のある方へ (臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター整形外科では、上記の目的で受診された股関節疾患患者さんのご家族に対する診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

当院における寛骨臼形成不全患者に対する家族外来によるスクリーニング

【研究の背景と目的】

背景：日本における変形性股関節症の原因の多くは発育性股関節形成不全（DDH）や股関節発育障害の後遺症がおもであり、変形性股関節症の80%を占めると言われています。しかし我国において乳児検診の普及や外来での日常生活指導（抱っこの仕方やおむつの巻き方指導など）により、DDHの発生率は1970年代より1/10以下になっているにもかかわらず、成人以降の変形性股関節症に対する人工股関節置換術の件数は軒並み増え続けており、年間6万件を超える勢いです。股関節疾患の4等身内の家族歴を聴取した研究によると31%に股関節疾患を認めたとの報告があり、また成人期以降の変形性股関節症患者のうち、幼少期に股関節の異常を指摘されず股関節の治療歴が明らかでないものが70%存在するとの報告があります。そこで当科では変形性股関節症および股関節発育形成不全症患者の家族に対して受診を勧めています。

目的：今回の研究の目的は股関節疾患チェックのために受診した股関節形成不全患者の家族の診療記録を使用して検査結果を調査し、家族の罹患率および股関節形態を明らかにすることです。

【対象となる方】

2007年3月31日までに股関節チェックを目的に整形外科を受診した、寛骨臼形成不全症・発育性股関節形成不全症の患者さんのご家族。

【使用する検体・診療情報】

収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

なお、使用する診療情報は以下のとおりです。

治療中の患者さんの情報：診断名、年齢、性別、治療歴、

家族外来を受診されたご家族の情報：患者さんとのご関係、年齢、性別、分娩法、出生日齢、過去の検診結果、身体所見（関節可動域や痛みの程度など）、画像検査（レントゲン・MRI・エコー検査など）

【研究期間と参加予定人数】

この研究は2021年10月当院臨床研究倫理審査委員会承認日から2027年3月31日まで実施され、100名の患者さんにご参加いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は2023年以降に開催される日本整形外科学会、日本人工関節学会、日本股関節学会で発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

この研究の研究成果はJournal of Orthopedic Science 雑誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科 垣花 昌隆（講師）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科 担当者：垣花 昌隆（学内講師）

電話番号：048-965-8545（医局直通） 平日 10:00～15:00

以上